


一関出張所の工事紹介 第1弾!

一関出張所では、北上川や磐井川などの河川工事を行っています。今現在どのような工事を行っているか「あれば」として順次紹介していきたいと思っております。

第1弾は、朝田建設株式会社さんで鋭意施工中の『一関遊水地第2小堤長島地区上流築堤工事』です!

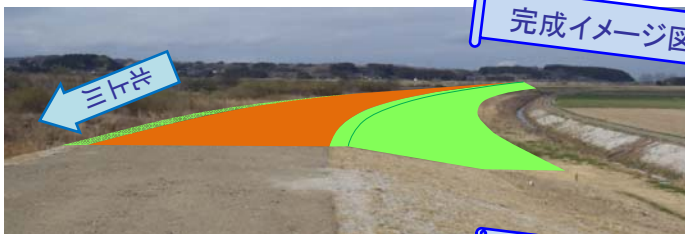
一関遊水地第2小堤長島地区上流築堤工事

工事概要

工事名 : 一関遊水地第2小堤長島地区上流築堤工事
工事場所 : 岩手県西磐井郡平泉町長島地内
工期 : 平成24年3月24日～平成25年1月22日
請負会社 :  朝田建設株式会社
工事内容 : 盛土工 V=67,700m³
法面整形工 A=18,760m²
植生工 A=19,350m²



この工事は平泉町長島地区の北上川(東側)、高館橋から約1km上流の小堤未施工部、高さ4m～6m、延長約600mの盛土工事です。



当築堤現場のイメージキャラの「築堤くん」です(^u^)
今月末、現場見学会を開催する予定なので、興味のある方は参加してみてくださいね!!

現場見学会開催について

開催日程

10月27日(土)

PM 2:00

PM 4:00

開催内容

- ◆ 建設機械・GPS体験
- ◆ 測量機器で測量体験
- ◆ 張芝体験 etc



現場見学会当日は、このぼり旗が目印!!



お問い合わせ先 現場事務所 TEL 0197-56-7128(菊池)

施工状況

9月末現在で、総設計盛土量67,700m³のうち、約46,700m³が完了しました。現在は、盛土を一時ストップして、法面整形及び張芝の施工段取りを行なっています。

盛土は年内に完成させ、法面整形及び張芝を工期までに完了させる予定です。



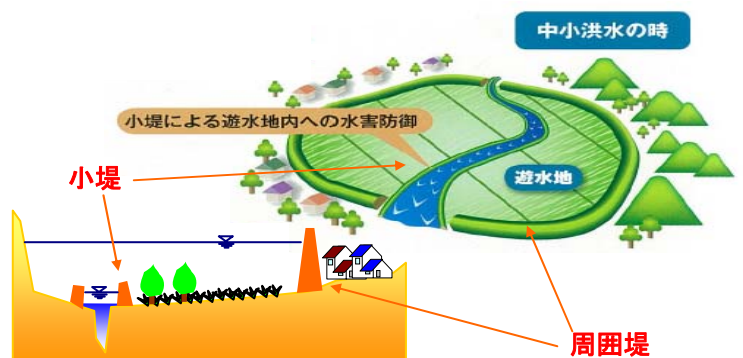
現場スタッフ



朝田建設さんが工事している小堤とは?

一関水遊水地は普段は農耕地として利用されていますが、大洪水の際には洪水の一部を貯めて下流側での洪水量を低減させる働きをもっていて、既に市街地を水害からまもる周囲堤は完成しています。

小堤とは中小規模の洪水時に、遊水地内の農耕地をまもるための堤防で完成時には概ね10年に1度の洪水に対応できる高さとなります。



～栗駒山砂防見学会～

岩手河川国道事務所と「あいぼーと」は、9月29日(土)に栗駒山砂防見学会を行いました。この見学会は、平成20年6月に発生した岩手・宮城内陸地震被災地の「今」と現在も進めている砂防工事を見学してもらい、将来を担う子供たちに地震や土砂災害など自然災害は身近なところで起こりうるものであること、それに対して地域の安全を支える砂防工事とは何かを知ってもらうために開催したものです。

9月の末にしては少し暑いぐらいの陽気のなか、参加していただいた皆さん、お疲れさまでした。



↑あいぼーと前で記念撮影

あいぼーと館内で最新の雨量レーダー「XバンドMPLレーダー」を見学し、さあ!!栗駒山まで出発～。



↑祭時被災地展望の丘

岩手・宮城内陸地震で落橋した旧祭時大橋を実際に見て身近で起きた地震の脅威を改めて感じました。



↑市野々原被災地展望広場

地震により山が崩れ土砂により磐井川が閉塞。天然ダムが決壊して市街地へ土石流が起きる危険が生じました。閉塞した河川の隣に水路を掘削し、土石流の発生を防ぎました。



↑市野々原2号砂防堰堤工事現場

「砂防(さぼう)」とは台風や激しい雨により削り取られる土砂の生産・流出を防いだり、できるだけ少なくすることをいい、「堰堤(えんてい)」とは、上流から流れてくる土砂をせきとめる施設です。

「砂防(SABO)」は、日本語ですが世界の共通語です!!



遊水地内の稲刈りが盛んです!!

一関遊水地内の田んぼの稲刈りが9月末頃から盛んに行われています。今年も田植え後に大きな出水もなく、収穫時期に襲来した先日の台風17号でも大きな影響はなく、無事に実りの秋を迎えています。

